

坂本水団連専務が講演

水道O&M研究会
研究 会 民間委託テーマに

水道O&M研究会は3月31日、東京市ヶ谷の日本水道



山田副代表幹事が挨拶

道会館で日本水道工業団体連合会の坂本弘道専務理事



講演する坂本専務理事

を講師に招き「上水道の現状と民間委託の将来展望」をテーマとした講演会を開いた。講演に先立ち、同研究会の山田昌司副代表幹事が「第3者委託制度ができて1年半が経過したが、ユーザーから見ると受け皿がしっかりしていないと見られている。我々23社は力を合わせて研究会が世の中で認

知されるように努力していかなければならない。そのためにも頑張っていきたい」と挨拶した。続いて、坂本専務理事の講演が行われた。坂本専務は上水道の現状や広域化の進展などを説明した後、今後の方向として「これからの水道はO&M研究会の出番がくる。力を蓄えていってほしい。民間委託も徐々に増えており、研究会をどう盛り立てていくかを考えてほしい。国内の今の水道をどう民間に引き継ぐかを腰を据えてやっていくべきだ」と要請した。

2社の新入会を決定

水道O&M研究会

水道O&M研究会は3月31日、東京市ヶ谷の日本水道会館で臨時理事会を開き、新入会員としてサンキ環境サービス(株)、化工機フアント環境エンジニア(株)の2社の入会を決めた。